



国際ロータリー第2590地区 川崎百合丘ロータリークラブ

# Weekly Report

2013～2014年度



作者の言葉  
我々の川崎ロータリークラブの活動は、多くの上級会員が、この多岐にわたる活動を通じて、お互いの絆を深め、地域社会の発展に貢献しています。その中で、特に印象的だったのは、大震災から丸3年が経ちました。改めて被災された方にお見舞い申し上げます。心から御礼申し上げます。以下、感謝をこめてニコニコへ。  
安藤亨会員、安藤志子会員、井上久会員、小島会員、中島健児会員、中島眞一会員、野島会員、大矢会員、親松会員、佐藤会員、鈴木文夫会員、玉井会員、鶴丸会員、碓井会員、渡邊会員、山口会員、山内会員、結城会員、阿久澤会員。  
大塚 良雄

平成26年3月11日(火)  
第1712回例会

会長 小塚 良雄  
幹事 中村 和広  
会報 中村 和広

例会日 毎週火曜日 12:30～13:30  
例会会場 ホテルモリノ7F TEL 044-966-1300

川崎百合丘ロータリークラブ ホームページ  
<http://www.kawasaki-yurigaoka-rc.jp/>

## 第1712回例会記録 平成26年3月11日(火) 33/46回

<点鐘> 小塚会長

<ソング> それでこそロータリー

<お客様ご紹介> 小塚会長  
川崎RC 白井勇様  
麻生区役所危機管理担当 山田茂治様 橋宏明様

<会長報告> 小塚会長

1. ロータリー青少年交換学生「広島・京都研修旅行の件」  
全額自費での参加となります。
2. 2016～18年度RI理事指名委員、補欠委員の変更了承の件  
指名委員 大須賀洋パストガバナー  
補欠委員 上野孝パストガバナー
3. 地区拡大増強フォーラム開催の案内(会長・会員増強委員長)  
4/9(水)15:00～18:00 新横浜フジビューホテル
4. 川崎・しんゆり芸術祭(アルテリッカしんゆり) 2014実行委員会開催のお知らせ  
アルテリッカ2014チケット斡旋についての案内

<幹事報告> 中村幹事

\*例会変更 川崎高津RC 川崎とどろきRC  
川崎中RC 川崎南RC

<ニコニコ委員会> 阿久澤委員

川崎RC白井勇様→「いつもお世話になります。よろしくお祈りします」。当クラブより 小塚会長→「本日は3月11日です。大震災から丸3年、改めて防災について考える日としましょう」。中村幹事→「東日本大震災から3年が経ちました。改めて被災された方にお見舞い申し上げます」。白井会員→「先日、母の葬儀には大変お世話になりました。心から御礼申し上げます」。以下、感謝をこめてニコニコへ。  
安藤亨会員、安藤志子会員、井上久会員、小島会員、中島健児会員、中島眞一会員、野島会員、大矢会員、親松会員、佐藤会員、鈴木文夫会員、玉井会員、鶴丸会員、碓井会員、渡邊会員、山口会員、山内会員、結城会員、阿久澤会員。

<ラオス歯科ボランティア募集のお知らせ>

阿久澤委員  
今年の9月にラオスのリエリッチャにある小学校で歯科診療のボランティアを行います。138,000円で参加を募集しています。ご興味のある方はお知らせください。

<出席委員会> 碓井委員

	会員	出席	欠席	メーク	出席率
第1712回	37	26	11		70.27%
第1711回	37	30	7	2	86.49%

- 第1714回 3月25日 炊き出し体験
- 第1715回 4月1日 PETS報告
- 第1716回 4月8日 会員卓話

※諸事情により、スケジュールは変更になる場合があります。

<ニコニコ・財団・米山委員会>

	今回		累計	
ニコニコ	23件	24,000円	803件	875,827円
財団	0件	0円	32件	385,000円
ベネファクター	0件	0円	2件	200,000円
米山	0件	0円	26件	370,700円

**本日のプログラム**

<招聘卓話>

麻生区役所 危機担当 山田茂治様

■東日本大震災からの麻生区の備え

3年前の東日本大震災をきっかけに、昨年麻生区役所内に危機管理担当という部署が設置されました。現在は、地域防災と地域安全に分かれ5人で担当しています。

麻生区の震災対策の大きなきっかけにもなった東日本大震災について少し振り返ってみたいと思います。平成23年3月11日14時46分に三陸沖でマグニチュード9.1の大地震が発生しました。死者15,000人超、行方不明者2,000人超と大変多くの方が犠牲となり、未だに26万人以上が避難生活をされています。

市内の震度は川崎区5強、幸区・中原区・宮前区が5弱、高津区・麻生区が震度4となりました。麻生区の被害状況は住居の破損が12棟、道路被害は1箇所と幸いにも軽い被害で済んでおります。また交通では小田急線が不通になりました。そのため、帰宅困難者を麻生区役所隣接の市民館・柿生連絡所に誘導し、駅前の大規模施設である昭和音大、ホテルモリノさんにもご協力いただきました。ライフラインは直後に停電が発生した地域がございましたし、その後の計画停電でも対象となっている地域が複数ございました。ガスは3割程度の供給がストップしました。この観点から、小学校・中学校にプロパンを設置する方向で現在進めています。

震災後の区としての対策は、まず取り掛かっているのが給水拠点の充実です。既に、避難所の側には十数か所ありますが、近くにない方のためにプールの水を浄水する浄水器を設置していく予定です。震災が起きまして、地域防災計画の改訂や修正が必要となってきています。麻生区の現状については橋から説明させていただきます。

麻生区役所 危機管理担当 橋宏明様

■麻生区の現状と対策

震災後の平成25年3月に川崎市が被害想定を発表しました。その資料から麻生区の数値を割り出した

資料に基づいてご説明します。資料では被害想定震度は、川崎市直下の地震でM7.3、元禄型関東地震でM8.2となっています。これは学識経験者の方の見解では、川崎市発生する地震は最大で6弱であるという想定のもとに作成されています。問題になってくるのが避難者数だと思います。28,806(1~3日後)・10,156(10日後)・10,156(28日後)という数字は避難所での生活をする人数です。しかし、各区への物資配布計画一覧の公的備蓄物資交付対象者数は7,502人となっています。こちらは家屋等が完全に倒壊し生活することができなくなってしまう人数から割り出されています。現在麻生区には7,502人分の備蓄しかないこととなります。1人2食分の計算となります。川崎市では分散して備蓄しています。特に中学校には備蓄物資が豊富なことがわかります。これはもともと川崎市で、中学校を備蓄拠点としていた為です。しかしこの度の震災を受け、小学校、中学校ともに備蓄を増やし同程度の量を備蓄することになりました。具体的には、3ヵ年計画で小学校に備蓄倉庫を設置、備蓄を行います。

川崎市の備蓄食糧のメインは、わかめご飯や白粥で、これはアルファ米を使い、お湯を入れて30分で食べられるものです。しかし、量が圧倒的に足りなく、救援物資が到着するまでにかかるであろう1週間程度の間をどうするかが問題になってきます。その間、今回ロータリーさんで計画されているような炊出し、地元の方々による有志、共助といわれるものが大変重要になってくると思います。その意味で、25日のロータリーさんの炊出し体験は、地域の方や地元の方等々にご見学いただき、それを通じて「自分達でもやらなければいけない」という意識付けと、「どういうことをやればいいのか」を考えるきっかけになると思います。これは行政にとっても非常にありがたい機会です。当日もお邪魔することになっていますが、川崎市の現状とそれを埋めただくロータリーさんの活動ということでお話しさせていただきます。

